現在の子どもたちは、大人の時代と比べると比較にならないほど豊かな社会に生きています。しかし、そうした中で彼らが以前より幸せになっているかどうかは極めて疑問です。非行、家庭内暴力、校内暴力、不登校、引きこもりなどに代表されるように、以前には、あまり見られなかったような問題行動が出現し、深刻な社会問題となっています。

それだけに、そうした問題には多くの大人が関心を持っており、その原因を家庭教育に求める人が多いのも事実です。ところが、子どもたちの生活の根本的なところで起こっている大きな変化に多くの大人は気づいていないように思います。それは、幼児期に身につけるべき基本的生活習慣が確立していないために惹起（じゃっき）されてくる生活リズムの乱れであり、日常の生活の規則性が崩れているのです。

基本的生活習慣とは、食事、睡眠、清潔の習慣です。その中の食事について、ある団体生活を行っている食事作法について例をあげたいと思います。

朝食は粥座、昼食は斎座、夕食は薬石と言われています、粥座は字のごとくお粥であり、斎座は正午までに食することであり、薬石は良薬として食するものです。

食事は、上位の方を中心に座り音や声を出さないようにして、上位の方を見ながら合図で食事をします。

おかわりについても順番があり、汁、飯、汁、飯、菜（漬物）、汁、飯、茶の順になっています。最初に箸を付けるのは飯と決められています。団体によっては、上位の方を横目で見ながら上位の方と同じ物を同じだけ食べる方法もあるようです。また一年に数回胃を大きくする為か、饗応（きょうおう）と言ってお腹いっぱい食べさせる事もあります。

また、昔から伝わる儀式作法に、湯、食、菓、嚫、茶という言葉があり、最初に喉を湿してから飯を食べるというように、先人たちの残した尊い教えは多々あります。

今は、洋食の機会が増え、テーブルマナーの方が必要とされてきているようです。人間として生きるために基本の一つとなる食事についても感謝の心を忘れず、また生きているのではなく、生かされている事も忘れてはならないと思います。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所（富士・東部保健所）

心身障害者自動車燃料費助成

富士・東部地区に在住する心身障害者を対象に、富士・東部保健福祉事務所と次の会場で受け付けを行います。

請求書用紙の配布など

市町村役場障害福祉係の窓口か、直接保健福祉事務所で受け取ってください。

また、保健福祉事務所のホームページからも用紙印刷が出来ます。

※郵送での受け付けも可能です。

受付期間及び時間

平成22年1月6日（水）～2月5日（金）
午前10時～午後3時

※郵送での締め切りは平成22年2月5日（金）消印有効

会場での受付

平成22年1月6日（水）
県富士吉田合同庁舎

平成22年1月20日（水）
いきいきプラザ都留

平成22年1月26日（火）
大月市総合福祉センター

平成22年1月28日（木）
県富士吉田合同庁舎

問合・申込先　福祉課
〒403－0005
富士吉田市上吉田1－2－5
☎0555（24）9032

HIV夜間検査

12月1日（火）は「世界エイズデー」です。WHO（世界保健機関）が世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別や偏見を解消するために提唱しているものです。

HIV感染者やエイズ患者の報告数は依然として増加の傾向にあるため、富士・東部保健所では検査や感染防止の啓発を行っています。

HIV検査（匿名・無料）

○通常検査
月～金曜日
（午前9時～午後4時）

○夜間検査
12月1日（火）・2日（水）の両日
（午後5時30分～7時）

※検査は採血後1時間以内で結果（抗体）がわかります。

完全予約制ですので、感染の不安があり検査を希望される方は、あらかじめ電話をお願いします。

なお、感染の心配のあった時から3カ月ほど経過していないと確実な結果がお返し出来ないことをご承知ください。

問合・予約受付
地域保健課
☎0555（24）9035